てぃんさぐぬ花　Ver1.0

本調子

	中	中	尺、中上	四	合老四	工	中	中工尺、中上							
	四	合、老四	工	中	中	尺、中上	四	合、老四	工						
てぃん さぐーぬ はー な や															
ち みさちー に すー みー てぃ うー や ぬゆし	中	中工六	七	七	○	六	七	中	中	尺中上					
ぐう とぅ や ち むにすみりー	四	合老四	工	中	中工尺中上	四	合老四	工							
う や ぬゆし ぐう とぅ や ち むにすみりー	中	中	尺中上	四	合老四	工	中	中工尺中上							
	四	合老四	工												

一、てぃんさぐぬ花や爪先（ちみさち）
　にすみてぃ
　親（うや）ぬ教（ゆ）し事（ぐとぅ）や肝（ちむ）に染みり

二、天（てぃん）ぬ群星（むりぶし）や
　読（ゆ）みば読（ゆ）まりしが
　親（うや）ぬ教（ゆ）し事（ぐとぅ）や読みやならん

三、夜（ゆる）走（は）らす船（ふに）
　や　子（に）ぬ方（ふぁ）星（ぶし）目当て（みあてぃ）
　我（わん）産（な）ちぇる親（うや）や我（わん）どぅ目当て（みあてぃ）

四、誠（まくとぅ）する人（ひとぅ）や
　後（あとぅ）や何時（いち）までぃん
　思事（うむくとぅ）ん叶てぃ千代（ちゆ）ぬ栄い

五、宝玉やてぃん磨かりば錆びす
　朝夕肝（ちむ）みがち浮世（うちゆ）渡ら

六、なしば何事（なにぐとぅ）んなゆる
　事（くとぅ）やしが
　なさぬ故（ゆい）からどぅならぬ定み